

福祉の **かさまつ社協**



第218号

令和8年3月1日

〒501-6063
 岐阜県羽島郡笠松町長池408-1
 TEL (058)387-5332
 FAX (058)387-5134
 E-mail:kasafuku@ccn5.aitai.ne.jp
<https://userweb.alles.or.jp/kasafuku/>

編集・発行／社会福祉法人笠松町社会福祉協議会



40周年

共に生き 支えあい 認め合う

昭和61年3月に社会福祉法人化した笠松町社会福祉協議会は、皆さまの温かいご支援に支えられ、40周年を迎えることができました。

今後とも、住民の皆さんの身近な「社協」として、

ふだんの
 くらしを
 しあわせに
 していきます。



行事だより



ふれあい・いきいきサロン クリスマス特集!!

12月に町内の各サロンでクリスマス会などが行われました。

各サロンでは歌謡ショーやクリスマスケーキのケーキカット、子どもたちによるクリスマスソングの演奏会など、サロン毎の楽しい企画が開催されました。

12月のサロンで20周年目を迎えた「門間サロン」では、お祝い会も一緒に行われ、手作りのお菓子を食べ、ビンゴゲームをして温かい時間を過ごしました。

また、平成28年11月に開始した「きたきたサロン」では、参加者が通算5,000人となり、記念セレモニーが行なわれ、前後も含め3人にサロン無料参加券がプレゼントされました。

年末年始には、町民の皆さまからいただいた歳末たすけあい募金の配分金でサロンへの助成を行っており、7つのサロンにご利用いただきました。ご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。



門間サロン



かさほサロン



きたきたサロン

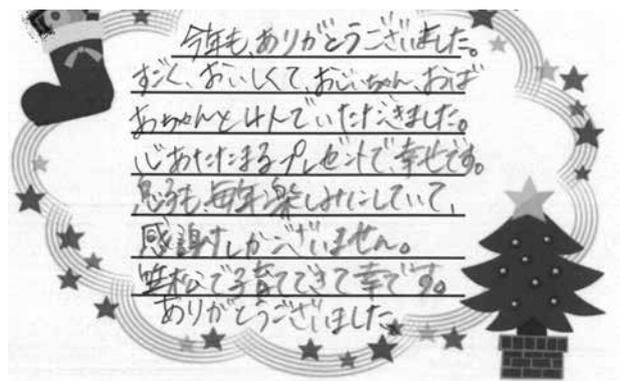


米野サロン

75世帯にクリスマスケーキをお渡ししました! ~歳末たすけあい募金配分事業~

皆さんからご協力いただきました「歳末たすけあい募金」を活用し、希望する就学援助世帯の75世帯にクリスマスケーキをお渡しができました。

ケーキを受け取られた方々から「子どもたちも大喜びで美味しそうにケーキを頬張っていました。たくさんの方の支援でいただいたんだと思うと心もあたたかくなりました」など嬉しい声がたくさん届きました。皆さんの温かいご寄付、昨年に引き続きクリスマスケーキを作っていたいただいたパティスリー小菊さん(八幡町)、ありがとうございました。



手ではなそう!手話体験 ～ふくし体験教室 第6回 開催～

※ふくし体験教室は、小学5年生から中学生を対象に、7月～3月(全8回)の期間にさまざまな「福祉」について学ぶ教室です

12月6日(土)福祉健康センターでふくし体験教室を開催し、「手ではなそう!～手とところでつたえる～」をテーマに、聴覚障がいや手話について学習しました。岐阜県聴覚障害者情報センターの聴覚障がい者講師である杉山比奈子さんと手話通訳の尾関裕子さんにお越しいただき、耳が聞こえなくて困ること、生活の中の工夫や便利な道具についての説明を聞きました。

また、手話や筆談など様々なコミュニケーション方法があることも教えてもらい、参加者は指文字やあいさつなど覚えた手話で自己紹介をしました。



いろんな手話を学びました

感想

松枝小学校5年 三浦瑠莉さん

- ・ 普段の生活にすごく不安があるけどそれを工夫して安心して生活ができていてすごいなと思いました。みんなにも広めていきたいし耳が聞こえない人がいたら話しかけて手話をしたいです。

笠松中学校3年 田島颯大さん

- ・ 耳が聞こえない人は、日常生活では光や振動を使って気付いたり、手話などを使って相手に伝えるということが分かりました。

誰もが楽しめるユニバーサルスポーツ ボッチャ ～ボランティアグループKind活動報告～

※Kindはふくし体験教室を修了した小学生から社会人までのメンバーで構成されているボランティアグループです

12月21日(日)メンバー6人が集まり、岐阜県障害者スポーツ協会の松井文徳さんから「ボッチャ」を学びました。ボッチャは年齢や障がいの有無に関わらず誰もが楽しめるユニバーサルスポーツです。ルールや競技の特徴に加え、今回はランプ(勾配具)と呼ばれる補助具の役割や使い方についても教えてもらいました。ランプは投球が難しい選手が使用する補助具で、角度や方向を工夫してボールを転がすことで競技に参加することができます。実際にメンバーも車いすに乗り、ランプを使用しての投球を体験しました。立って投球する場合との違いを感じることができ、障がい者スポーツの理解を深める機会となりました。



ランプを使って挑戦!上手く転がるかな

体操で笠松を元気に!! ～介護予防リーダー養成講座修了～

1月30日(金)令和7年度「介護予防リーダー養成講座」の修了式を行いました。

講座では、音楽に合わせたストレッチ体操、運動と認知課題(脳の体操)を同時に行うコグニサイズ、運動をする際に気をつけることなどを学びました。

平成30年度から実施している講座修了者も延55人となりました。

今後は、地域全体の健康づくりのため、介護予防活動を行っていただきます。



音楽に合わせた体操の練習

ボランティア情報

笠松町ボランティアセンター
☎387-5332 FAX387-5134
長池408-1 福祉健康センター内
8:30～17:15(土・日・祝祭日は休み)

障がいがあってもなくても ともに暮らす地域へ ～障がい理解のための講演会の開催～

1月24日(土)笠松中央交流センターで障がい理解のための講演会を開催し、69の方が参加しました。

ふくしと教育の実践研究所SOLA 主宰 新崎国広さんにお越しいただき、「誰もが安心して暮らせる地域とは？他人に迷惑をかけることがよいのではなく、お互いに依存しながら生きていくことが大切である」とお話しいただきました。

また、町内在住の障がいのお子さん育てる2家族にもご登壇いただき、子育ての中で大変だったことやうれしかったことについてもお話しいただきました。

障がいの有無にかかわらず、誰もが安心して暮らしやすいまちになるよう、地域全体で障がいについての理解を深め、地域のつながり・支えあいの輪を広げていきたいです。



“優しさ”はどこにある？

参加者の感想

- ・障がいのある人ともう少し関わっていくことが大切
- ・先入観を持たずに助け合いたい！
- ・近所づきあいが少ない今日ですがもっともっと開けていけたらいいなあ
- ・地域との関わりを好まない方にはどんなお節介ができるだろう など

地域で活躍するボランティア紹介！ 落語寄席 天知家 藤志楼さん

今回は、町内で活動している落語家 天知家 藤志楼さんを紹介いたします。小さい頃からラジオで落語を聞くのが大好きで今までに撮りためたテープは1,000本以上。3年前に「大垣落語の会」が主催する寄席を見に行ったことがきっかけで落語家としての活動がはじまり、現在は町内のふれあいサロンや高齢者施設などさまざまな場所で活躍されています。

1月20日(火)心音ケアセンター笠松で落語寄席を行いました。演目「道具屋」で露天商・与太郎と訪れる客とのやりとりを手ぬぐいと扇子で表現され、ほっこり笑える楽しい時間でした。天知家さんは「落語のおかげでご縁が広がっている。笑ってもらえるとうれしい」と話されていました。地域の中で「少しでも誰かの役に立ちたい」と笑いで元気を届けるステキな活動です。

なお、「ボランティア活動してみたい」「ボランティアに来てほしい」などのご相談がありましたら、お気軽に本センターまでご連絡ください。



懐かしさと笑いがあふれる落語の世界

(ノコギリを見て)

客「なまくらだな。焼きが甘いんじゃないか」
与太郎「火事場で拾ったから良く焼けているよ」

使用済み切手の収集について

使用済み切手の収集にご協力をお願いします。
ご協力いただいた使用済み切手は、換金後、災害ボランティアセンターの備品購入などに役立ちます。今後とも使用済み切手の収集にご協力をお願いします。



消印に関係なく切手の周囲を5mm程度残して切り取ってください

ありがとうございます

使用済み切手の収集活動にご協力いただき、ありがとうございます。
12月10日～2月6日(敬称略・順不同)
笠松町シルバー人材センター
笠松こすもす薬局 匿名4件

〈使用済み切手換金報告〉

令和5年8月9日～令和7年10月17日
11,300円(1,000円/kg×11.3kg)

思い出のランドセルギフト

今年も卒業式の季節が近づいてきました。そこで、小学校を卒業される方や使われなくなったランドセルをお持ちの方は、ランドセルの寄付をお願いします。送料として1個につき2,500円もしくは、書き損じはがき58枚(85円はがきの場合)が必要となります。寄付いただいたランドセルは「公益財団法人ジョイセフ」を通じて海外(アフガニスタン)の子どもたちに届けられます。子どもたちが安心して学校に通える毎日は、未来の夢へつなげる第一歩になります。皆様のご協力をお願いいたします。

詳細は、公益財団法人ジョイセフのホームページをご覧ください。

(https://www.joicfp.or.jp/jpn/donate/support/omoide_ransel/)

問合先 笠松町社会福祉協議会 ☎387-5332



ホームページ



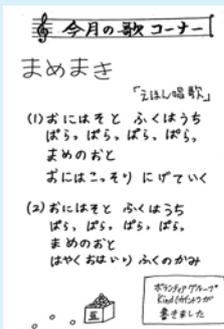
写真提供:国際協力NGOジョイセフ

情報紙「えがお」の記事作成ボランティアなどを募集中!!

「えがお」は、65歳以上のひとり暮らし高齢者へ毎月発行している情報紙で、絵手紙や歌、レシピの紹介、投稿記事などを掲載しています。

お出かけ先やクイズなどの記事を作成して下さる方、また、「えがお」の製本を行っている厚生会館へ印刷した「えがお」を届けていただける方など募集しています。

ご協力いただける方は、詳細を説明いたしますのでお手数ですが本会(☎387-5332)までご連絡ください。お待ちしております。



義援金募集のお知らせ

岐阜県共同募金会笠松町分会では、災害義援金を受付しています。ご協力いただける方は、本会(長池408-1 福祉健康センター内)へお願いいたします。お寄せいただいた義援金は、各県、日本赤十字社、共同募金会等で構成する義援金配分委員会において配分が決定され、市町村を通じて被災者に配分されます。(2月6日現在)

〈受付期間:令和8年3月31日まで〉

令和7年大分市佐賀関大規模災害義援金

令和7年8月豪雨義援金(熊本県)

〈受付期間:令和9年3月31日まで〉

令和6年能登半島地震災害義援金(石川県)

令和6年能登半島地震災害義援金(新潟県)

令和6年能登半島地震災害義援金(富山県)

令和6年能登豪雨災害義援金(石川県)

※義援金箱設置場所:パティスリー小菊・ソワユ・天領の駅・ごはん居酒屋いろうなん・福祉健康センター

217号のp6

共同募金額訂正のお知らせ

赤い羽根 訂正前 2,432,670円

訂正後 **2,539,180円**

歳末 訂正前 542,050円

訂正後 **552,050円**

令和7年度共同募金最終報告 ご協力ありがとうございました。

赤い羽根共同募金 2,585,105円

歳末たすけあい募金 629,555円

団体(12月10日~2月6日)(順不同・敬称略)

笠松町赤十字奉仕団笠松分団30,000円

笠松町赤十字奉仕団松枝分団30,000円



ふれあい喫茶松枝 お茶の時間を再開しました

福祉健康センターで開催されている松枝喫茶では、11月よりお茶の時間を再開しました。

コロナ禍以降休止していたお茶の時間を再開するにあたり、以前からふれあい喫茶と一緒に運営している認知症サポーターの皆さんと話し合いました。サポーターさんは「自分たちのできることを手伝うよ」とお茶出しのみでなく、積極的に参加者と交流を図り、より一層、喫茶の時間がにぎやかになりました。

ふれあい喫茶は原則毎月第2月曜日に総合交流センター、第2火曜日に福祉健康センターで開催しています。どなたでも参加可能ですのでお気軽にお越しください。



参加者との交流も活発です！

参加者の声

寒くなってきたので、喫茶店みたいに温かいお茶を飲みながら他の参加者と交流することもできて楽しいです。

「ふれあい・いきいきサロン」で出張介護相談を行いました！

笠松地域で開催している「ふれあい・いきいきサロン」へ介護や福祉の専門職が出向き、介護の相談や情報交換を行っています。

11月は「きたきたサロン(福祉会館)」、1月は「善光寺サロン(善光寺)」、2月は「かさほサロン(笠松保育園)」で、日々の生活での心配ごとの相談、介護保険制度の説明、介護予防ゲーム等を行い、和やかな雰囲気の中で一人ひとりに寄り添える時間となりました。

身近なサロンだからこそ生まれる安心感を大切にしながら、相談しやすい機会をつくります。



参加者へ包括支援センターを紹介！



日常生活について、お聞きしました

参加者の声

- ・介護の相談ができると地域の方から教えてもらい参加。家族介護のことで相談ができひとまず安心できました。
- ・介護保険制度について詳しくは知らなかったが、事前に勉強することで今後の安心に繋がる良い機会となりました。

3月22日(日)9:30～は金池サロンへ出張予定！お気軽にご参加ください！

ケアマネジャー研修会を開催しました！

12月から2月にかけて福祉健康センターでケアマネジャー研修会を開催し、計11事業所が参加しました。高齢者虐待への対応や、経済的に困っているなどサポートが必要な方に対する支援についてディスカッションを交えて学びました。

ケアマネジャーとは？

介護が必要な人と介護サービスをつなぐ調整役。「要介護状態になってしまった。どうしよう」といった不安を丁寧に聞き取り、本人・家族と一緒に必要な介護サービスを検討し、町民の皆さんが自分らしく生活し続けられるよう支えます。



ディスカッションを通じて学びを深めています

福祉メッセージ 大賞・優秀賞・佳作作品発表 赤い羽根共同募金配分事業

受賞された皆さんおめでとうございます。今回も「福祉」への想いを100字に込めた「福祉メッセージ」に、町内の小・中学生より760点の作品が寄せられました。どの作品もすばらしく、優劣がつけがたいのですが、福祉メッセージ審査会にて作品を選考し、表彰しました。

大賞・優秀賞・佳作に入賞された皆さんの氏名・作品をご紹介します。(原文のまま・敬称略)

小学生・高学年の部

大賞 『地域みんなと神社をきれいに』

松枝小学校5年 若曾根 ^{なほ}菜穂

「きれいになったね」お姉ちゃんがそう言った。毎年夏や秋に秋津神社を地域の人たちとそうじする。地域の人たちとそうじをしているときずながどんどんつながっていく。これからも地域のボランティアに取り組みたい。

優秀賞 『元気をもらえる大きな声』

^{このか}松松小学校6年 松名 琴乃奏

私の安心安全パートナーの人はいつも暑い中元気よく「お帰りなさい」と言ってくれるのでとてもいい気持ちになりました。次は、私が元気な声であいさつをして、だれかがいい気持ちになるようなあいさつをしたいです。

優秀賞 『家族を守ろう』

下羽栗小学校4年 鈴木 ^{えいと}詠士

お母さんがしょうがい持ってて、いつもサポートしててお母さんが夜につまづいたりころんだりするとき代わりにぼくがサポートして手をつないだりしています。町中で障がい者マークを見かけると心配で見守ってます。

佳作 『笠松小学校のために』

^{とうり}笠松小学校6年 織田 登理

フリースタイルでたくさんの地域の方が参加してくれました。ぬいてくれたそのあたりは草1つありませんでした。自分から進んでボランティアに取り組みたい。ぼくも人のためにたくさんの行事に参加したいです。

佳作 『難しくても…』

^{えいと}松枝小学校6年 村上 瑛都

障がいの人や高齢の方と関わることはとても難しいことです。それでも心から思っていることを真の福祉だとぼくは思います。そしてそのような人たちのことをぼくは一番かっこいいと思うように最近になりました。

佳作 『やさしさ』

下羽栗小学校6年 濱口 ^{けいた}佳汰

ぼくの行っている放課後デイサービスには足の悪い子がいます。その子と一緒に階段を上りました。上りきった時「ありがとう。」と言われ心が温かくなりました。また一緒に上りたいし、困っている人に声をかけたいです。

中学生の部

大賞 『架け橋』

笠松中学校2年 岩田 ^{こうが}皇牙

僕の祖母と曾祖母は耳が悪く2人で会話する事が困難です。僕が2人の間に入る事で会話が成立し、笑顔が生まれました。年を取る事で不自由になっていく事が多い中、僕に出来る事を探し、人の役に立ちたい。

優秀賞 『毎日のなにげない優しさに感謝』

^{ちな}笠松中学校1年 北岡 千愛

中学生になり、新しい通学路には横断歩道があります。今まで立ってくれたふれあい隊さんもない中、車の方は止まってくれます。私は地域の方の優しさに毎日笑顔になり登校出来ています。ありがとうございます。

優秀賞 『音楽を通して感じる温かさ』

^{ゆうな}笠松中学校3年 西垣 優奈

先日、福祉施設で行われたお祭りに参加しました。そこでは、合唱パフォーマンスが行われました。障がいのある方、高齢の方、子供などいろいろな人たちがリズムにのって音楽でひとつになる温かさを感じました。

佳作 『いつもありがとう』

^{さあや}笠松中学校1年 丹羽 沙綾

はた当番のみなさん、いつもありがとう。晴れの日も雨の日もどんな日でも、元気な声で「おはよう。」「いってらっしゃい。」そんなあたりまえな一言で、私はいつも、心があたたかくなります。いつもありがとう。

佳作 『笑顔のひと声』

^{すみれ}笠松中学校3年 山口 堇

地域の人たちが笑顔であいさつをしてくれると元気がでます。小さな温かい声かけが毎日の力になっていて、頑張ろうと思えます。笠松の人たちを支えてくれてありがとうございます。

佳作 『あいさつの力』

^{ちな}笠松中学校3年 山田 智菜

いつも私は、朝はあまり元気がありません。だけど、いつも明るく笑顔で「おはよう」と言ってくれる地域の人が出て、自然にすごく元気になり何もかもが楽しくなります。次は私がありがとうとあいさつで伝えます。

中央共同募金会から表彰されました

令和7年11月12日、中央共同募金会から、岐阜県共同募金会笠松町分会が共同募金運動優良地区として表彰されました。

3年継続して目標額が達成できていることと、3年連続して募金額が増加していることが評価されました。

皆さんの温かいご支援・ご協力、ありがとうございました。引き続き、共同募金にご協力よろしくお願いたします。



皆さんよりお寄せいただきました「あたたかい善意のこころ」は、地域福祉事業に役立てさせていただきます。(12月10日～2月6日)(順不同)
 ●匿名 金 14,000円 匿名 金 5,000円 匿名 金 5,000円

施設サービスのご案内

グッデイ すぎない

- デイサービス 入浴、食事、レクリエーション等充実した楽しい一日をご提供します。
- グループホーム 認知症の方の「もう一つの家」として24時間体制でお世話させていただきます。
- 予防リハビリ 体を動かし、頭を働かせ身体の機能回復を図ります。
- 居宅介護支援事業所 介護に関してのご相談を専門スタッフが受け付け致します。
- 小規模多機能 デイサービス・泊まり・訪問介護の組み合わせにより24時間サポートをします。

入居受付中
高齢者介護施設

〒501-6047 岐阜県羽島郡笠松町二見町15-1 笠松駅前 TEL.058-387-7101

めざせ! 生涯自立 家で自立した生活をするための 体操教室

※ 介護保険サービスです



アクティブでできる事

- ご自宅まで送迎します
 - 健康チェック
 - 生活に必要な筋肉体操
 - コーヒータイトム 運動後は話も弾みます!
 - 帰宅途中に買い物に行きます。(水曜日希望者のみ)
- 90分~

約650円/回~

動けなくなってから
身体を戻すことは大変です。
介護保険を利用するのは私にはまだ早い。
そう思っている方!
今こそ筋肉体操で体力を保ちましょう!

アクティブトレーニングセンター

介護認定をうけていない方もご相談ください

お気軽にお問い合わせください 無料体験 実施中!

058-387-0054

【受付時間】 8:00 ~ 17:00

URL : <https://active-training.center/> 住所 : 笠松町門間46-2



めざせ!
生涯自立



笠松町 介護予防・日常生活支援総合事業 指定事業者

★財源確保のため広告を掲載しています。広告の内容に関する問い合わせは直接広告主へお願いします
また、広告掲載を希望される方は、本会(☎387-5332)までお問い合わせください